

20000年前	旧石器時代	石刃技法を特色とするナイフ形石器・石刃・彫器などの定型的な石器が登場する(①45)(神山・貝坂・御淵上遺跡)
		長野県霧ヶ峰方面から、石器材料として黒曜石がもたらされる(①42・54)(角神・貝坂・藤平遺跡)
14000年前		シベリア大陸一帯に広がる細石器文化が伝播し普及する(①58)(荒屋・月岡・中土遺跡)
12000年前		細石刃が消滅し、土器製作がはじまる(①64・91)